あすなろだより

第43号
平成30年７月８日発行

社会福祉法人　松園福祉会
特別養護老人ホームあすなろ園
家族会発行
倉敷市玉島勇崎1,044番地
電話　086-528-3110
FAX　086-528-3255
ホームページ　http://www.asunaro.or.jp
E-mail　info-a@asunaro.or.jp

平成30年度 社会福祉法人 松園福祉会 入職式

平成30年４月２日、外国人介護福祉士候補者と新職員（４月１日付）の入職式を行いました。

始めに、理事長から法人の基本理念や社会人としての成長、貢献を期待する訓示がありました。

新職員を代表して、塩田ひかりさんが「同期の仲間と共に、施設の一員として迎えていただけたことに心から感謝し、また嬉しく思っています。学校を出たばかりの未熟者ではございますが、一日も早く一人前の社会人としてお役に立てるよう、努力していきます（一部抜粋）」と答辞を述べました。

外国人介護福祉士候補者と新職員は、マナー研修や介護技術研修などを経て、あすなろ園の一員として配属フロアで頑張っています。

特養入園者 誕生日に家族と一緒に食事会

▲白神喜美江様　ご家族

▲尾形俊一様　ご家族

▲白神美智江様　ご家族

▲岡部　弘様　ご家族

▲小河原美喜子様　ご家族

▲平田八千代様　ご家族

▲赤澤庄造様　ご家族

▲中村可祝様　ご家族

▲正清　典様　ご家族

ご寄付御礼（敬称略）

平成29年11月21日～平成30年６月10日

三宅幸子
原田弘子
佐藤裕士
藤井純子
原田和恵
溝口孝
中藤七五三夫
佐藤康春
中村宜嗣
小林博子
前田通朗
小藤栄次
野岡健二
末廣海二
村直敏
古城勝
岡本陽子
白神一郎
大島正明
小野誠二
森文作
西本具
日本
フアミリエ勇崎
野田乳販
柏台町内会
唐井八重子
中原田ヤス子
堀藤政子
山勝恵子
山本和子
ハリー藤原
若狭衣江
桑名純朗
徳田ヤス子
真田冨美子
堀江美栄子
小野公子
藤井和男

ボランティア ありがとうございます

平成29年11月21日～平成30年６月10日

ボランティア個人（敬称略）

ボランティア団体（敬称略）

たましま歌声の会
ワーカーニシノ
黒崎中学校区人権学習推進委員会
黒崎公民館　歌舞の会
好日会　こすずめ同好会
久潤琴の会　伊つき座
玉島商業高校野球部
あすなろ園家族会
燦々会　柏台おかめ会
柏台カラオケ同好会
ユタカフラハラウ
哲泉流柏台詩吟の会

▲ワーカーニシノ 様

▲伊つき座 様

▲こすずめ同好会 様

新職員紹介

●特養

▲介護職員
カスケーホ・カレン・ジルスア

▲介護職員
レクト・クリスティン・ラマンダ

▲介護職員
北川　太喜

▲介護職員
玉木　航平

居宅介護支援事業所

▲介護職員
藤田　涼花

▲食事介助員
増成　厚子

ウェルフェアサポートサービス

▲介護支援専門員
間野　理恵

あすなろｓｍｉｌｅ

▲調理員
新田　静子

▲調理員
福井　洋子

▲調理員
塩田ひかり

▲指導員
水田　愛子

編集者
あすなろ園　広報委員会

いきいきライフ

特養

▲金光の丸山公園でお花見

▲笑顔も桜も満開

▲「洗う物があったらいつでも言って」

▲今からホットチョコケーキを作ります

▲八幡福祉会の園児との合同運動会
笑顔で交流

▲玉島南小学校の運動会を見学

▲みんなで育てた
ブロッコリーを収穫

▲立派なブロッコリー
が穫れました

勇崎デイ

▲船穂ワイナリーで
桜とソフトクリームを堪能

▲素敵な絵手紙ができました

▲世界に一つだけの花が完成

▲一文字ずつ丁寧に

柏台デイ

▲サンロード吉備路へ
買い物に行きました

▲いきいき体操で
「心も体もいきいき」

▲あやとり「昔を思い出します」

▲昼休みの楽しみはオセロ

柏台グループホーム

▲もやしのヒゲ取り
「真剣です」

▲ご家族から贈られたアルバムを手に
「ハッピーバースデー！」

▲玉島「あずまや」でうどんに舌鼓

▲金光の土手でお花見
「夫婦で記念撮影」

Welcome！ フィリピンからEPA（経済連携協定）介護福祉士候補者受け入れ

EPA（経済連携協定）看護師・介護福祉士候補者とは、インドネシア・フィリピン・ベトナムの3か国と、日本がそれぞれ経済連携協定を結び、外国人看護師・介護福祉士候補者（以下、外国人候補者）の受け入れを実施するものです。外国人候補者は、日本の病院や介護施設で働きながら国家資格を取得することを目的としており、資格取得後も看護師・介護福祉士として継続的に日本に滞在・就労することが期待されています。

あすなろ園では、平成29年度にフィリピンからの外国人候補者を受け入れることになりました。

受け入れの流れとしては、まずフィリピンで応募した数千人の外国人候補者の中から選抜された300人の候補者と、園の代表者がマッチングを行います。受け入れ先が決まったら、自国で6か月間の日本語研修を受け、日本語能力がN5程度以上に達した候補者が来日します。そして、横浜の研修センターでさらに日本語と介護の研修を受けた後、雇用契約に基づきそれぞれの病院や介護施設で就労することになります。

外国人候補者を受け入れるためには、受け入れ側の施設にも「介護福祉士養成施設の実習施設と同等の体制が整備されていること」など、いくつかの要件があります。

今回は、母国であるフィリピンや家族と離れ、昨年6月に来日して横浜での研修を終え、12月4日にあすなろ園に就職した2人を紹介します！

2人は、あすなろ園で介護技術研修や日本語研修を受けながら、実際に入園者の介護に携わっています。

▲ウェルカムパーティーをしました（平成29年12月21日）

レクト・クリスティン・ラマンダさん（愛称：テイン）

▲インタビューに答えるテインさん

ミンダナオ島出身のテインさんは、特養2階フロアに配属されています。

介護の仕事については、「楽しいです」と笑顔を見せ、「初めはコミュニケーションが壁になると思ったが、職員が工夫して説明してくれたり、自分に合わせてくれるので問題ありません」と、先輩職員のサポートが日本で仕事をする上での後押しとなっているようです。

入園者からも「遠くから来て、感心しました」「よく頑張っているよ」と声を掛けられ、感謝されることが嬉しいと話すテインさん。今後について聞くと、「介助がうまくなりたい。利用者さんが辛い時、悲しい時に言葉をうまく伝えられないことがあるので、日本語も頑張りたい」と前向きな姿勢でした。

来日して約一年が経ち、母国との違いで驚いたことを尋ねると、「自動販売機が多い」「新幹線、電車があること」と答えてくれました（フィリピンでは、マニラにしか電車がない）。

また、日本にいるうちに有名な観光地に行ったり、お花見やスキーをしてみたいそうです。8月には、なんと富士登山を予定しているとか！

▲日本語研修の様子
（右は外部講師の木村先生）

カスケーホ・カレン・ジルスアさん（愛称：カレン）

▲インタビューに答えるカレンさん

セブ島出身のカレンさんは、特養1階フロアに配属されています。

過去に、ドバイで2年間介護の仕事をしていたことがあるというカレンさんですが、日本では入浴の機械を操作することや、食事介助が難しい時があるとのこと。また、「入園者との散歩やおしゃべりは楽しいけれど、日本語が分からない時があるので、まだまだ勉強中です」と、苦手なことを克服するため、日々奮闘しています。

日本での生活について聞くと、「日本は静かで安心できる。日本人は優しいです」と好印象でした。「でも、色んな物の値段が高いことに驚きました」「それから、夏も寒いです」とフィリピンとの違いも…。

料理が得意なカレンさんは、寮の近くにあるスーパーで買った食材で工夫しながら自炊をしているそうです。そして、もう少し日本の生活に慣れてきたら、神社など有名なところや北海道に行ってみたいと話してくれました。

▲ある日の食事介助

第49回 中国地区老人福祉施設研修大会に参加

平成29年9月14日、島根県民会館で第49回中国地区老人福祉施設研修大会が開催されました。

表彰式では、当法人から13年以上勤務の7名が受賞しました。

受賞者は次の通り。

特養　大島　秀和
　　岡田　学
勇崎デイ　天野　想
柏台デイ　植田　文華
柏台グループホーム　井上　貴子
ウェルフェア
サポートサービス　小橋　美由紀
　　笹堂　しげ子

翌日の分科会では、特養の大島秀和介護主任と、青石恵介護主任が『ハートフルコミュニケーション』と題して発表を行ないました。

▲取組み発表をする、
青石さん（左）と大島さん

▲会場の前で記念撮影